



図9 播磨灘北東部海域における調査地点図

(底質)

調査名	対象	調査機関	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目											備考 その他				
								粒度	pH	酸化還元電位	乾燥減量	強熱減量	COD	T-N	T-P	TOC	硫化物	n-ヘキサン		単位体積重量			
底質・ベントス調査	海域	宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場	年2回(5月、9月)	3地点(湾奥、湾中央、湾口)	-	不明	報告書																・調査地点は、宮城県水産技術総合センターが行っている水質調査地点のSt.1、3、5である。 資料:伊藤博、気仙沼湾における貧酸素水の発生と経年変化、宮城県水産研究報告、第8号、pp.41-48、2008 ※資料未入手のため、調査内容の詳細は確認できなかった。
底質調査	海域	宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場	1回(5月)	28地点(気仙沼湾) 3地点(大川流域)	-	採泥分析	文献	○															・この調査のほか、気仙沼湾では1950年代から不定期に詳細な底質調査(1954、1962~1963、1971、1985、1991年)が行われている。 資料:鈴木貢治、千葉充子、気仙沼湾の底質および水質の経年変化、宮城水産研報、第3号、2003 ※資料未入手のため、調査内容の詳細は確認できなかった。

(生物)

調査名	対象	調査機関	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目						備考 その他	
								植プラ			底生生物		水生生物		
								沈殿量	同定	計数	同定	計数	植生分布	植生遷移	
【植物プランクトン】															
貝毒プランクトン出現状況	海域	宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場	1回/約2週間	1地点(岩井崎沖)			宮城県HP	○							インターネット調査では、平成17年度以前の調査実施状況については確認できなかった。
赤潮発生状況	海域	宮城県農林水産部水産業基盤整備課	赤潮発生確認時に随時				宮城県HP	○							・文献では、伊藤らが1972~2003年までの赤潮発生状況の変遷をまとめている。 資料:伊藤博、藤田則孝、千葉充子、気仙沼湾湾奥部における漁場環境の変遷、宮城県水産研究報告、第5号、2005
【底生生物】															
底質・ベントス調査	海域	宮城県水産技術総合センター	年2回(5月、9月)	3地点(湾奥、湾中央、湾口)			報告書								・調査地点は、宮城県水産技術総合センターが行っている水質調査地点のSt.1、3、5と同じ地点である。 資料:伊藤博、気仙沼湾における貧酸素水の発生と経年変化、宮城県水産研究報告、第8号、pp.41-48、2008 ※資料未入手のため、調査内容の詳細は確認できなかった。
【水生生物】															
水生生物調査	河川	気仙沼市、NPO、学校等	年1回	11地点(大川5地点、面瀬川2地点、神山川2地点、八瀬川2地点)	-	計測	宮城県HP、環境相HP								

(流況)

調査名	対象	調査機関	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目				備考 その他		
								流向	流速	水温	塩分			
気仙沼市 潮位・津波観測システム	海域	気仙沼市		1地点(潮位センサー)	-	機器測定	-							・インターネット調査では、情報の公開状況を確認できなかった。 ・全国港湾海洋波浪情報網(ナウファス)ではダウンロードできない。 ・観測システムの全観測地点数は潮位センサー3地点、カメラ1地点の計4地点。気仙沼湾では湾奥の1地点のみ

3. 三河湾
(水質)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目																				備考 その他		
								水温	塩分	塩化物イオン	透明度	濁度	SS	pH	DO	COD	DCOD	TOC	DOC	POC	T-N	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	懸濁性窒素	T-P	オルトリン酸態リン		溶存態ケイ素	ケイ酸態ケイ素
公共用水域水質調査結果	愛知県	昭和48年度～	月1回	環境基準点:21地点※6 補助地点:3地点	上層:0.0m 中層:5.0m 下層:海底上0.5m	採水分析	報告書※1、愛知県HP、環境省HP	○	○			○	○	○							○							○	○	他: 流況、フェノール類 ※1: 愛知県報告書に記載 ※6: うち窒素・リンのみの基準点3地点を含む
	愛知県・名古屋港管理組合	昭和46年度～	月1回	環境基準点:5地点 補助地点:1地点	上層:0.0m 中層:5.0m	採水分析	報告書※1、愛知県HP、環境省HP	○	○			○	○	○							○							○	○	他: 流況、フェノール類 ※1: 愛知県報告書に記載
	名古屋市	昭和55年度～	月1回	補助地点:1地点	上層:0.0m 中層:5.0m	採水分析	報告書※1、愛知県HP、環境省HP	○	○			○	○	○							○							○	○	他: 流況、陰イオン界面活性剤 ※1: 愛知県報告書に記載
	名古屋港管理組合	昭和38年度～	月1回	補助地点:4地点	上層:0.0m 中層:5.0m	採水分析	報告書※1、愛知県HP、環境省HP	○	○			○	○	○							○							○	○	他: 流況、フェノール類 ※1: 愛知県報告書に記載
	豊橋市	昭和50年度～	月1回	環境基準点:1地点 補助地点:3地点	上層:0.0m 中層:5.0m	採水分析	報告書※1、愛知県HP、環境省HP	○	○			○	○	○							○							○	○	他: 流況、フェノール類 ※1: 愛知県報告書に記載
伊勢湾広域総合水質調査	環境省(実施機関:愛知県、三重県)	昭和48年度～	年4回(四季)	33地点	5m以浅:表層及び底上0.5m 5m以深:表層及び底上1m	採水分析	報告書、環境省HP	○			○			○	○	○				○	○									
自動観測ブイ	愛知県	平成3年度～	1回/時間	3地点		機器観測		○	○				○																	他: 流況
渥美外海観測	愛知県水産試験場		月1回	23地点 (伊勢湾内4地点、渥美外海19地点)	0～50mまでは10mピッチ、50～150mまでは25mピッチ、150～300mまでは50mピッチ、300m以深は100mピッチ		報告書	○	○		○																			渥美外海操業船実態調査、流向・流速調査も実施

EPN:○-エチル ○p-ニトロフェニル フェニルホスホノチオアール

(底質)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目													備考その他				
								粒度	pH	酸化還元電位	乾燥減量	強熱減量	COD	T-N	T-P	TOC	硫化物	n-ヘキサン	単位体積重量						
伊勢湾広域総合水質調査	環境省(実施機関:愛知県、三重県)	昭和48年度~	年2回(夏季、冬季)	3地点	-	採泥分析																			

(生物)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目						備考その他
								植プラ			感生生物			
								沈殿量	同定	計数	同定	計数	湿重量	
【植物プランクトン】														
伊勢湾広域総合水質調査	環境省(実施機関:愛知県、三重県)	昭和48年度~	年4回(四季)	7地点	-	採水計数								
赤潮・貝毒監視事業	愛知県	平成11年度~	月1回											
【底生生物】														
伊勢湾広域総合水質調査	環境省(実施機関:愛知県、三重県)	昭和48年度~	年2回(8、2月)	6地点	-	採水計数								

(流況)

調査名	対象	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目													備考その他			
									流向	流速	水温	塩分													
伊勢湾流況調査	海域	第四管区海上保安本部	平成15年~	月1回(月の前半)	23地点(3測線)	連続的に観測	機器測定	第四管区海上保安本部HP																	黒潮の流れ、津波等も観測
渥美外海観測	海域	愛知県水産試験場		月1回	23地点(伊勢湾内4地点、渥美外海19地点)		機器測定	報告書																	

(底質)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目															備考その他		
								泥温	泥色	臭気	泥質	含水率	粒度組成	pH	酸化還元電位	乾燥減量	強熱減量	COD	T-N	T-P	TOC	硫化物		n-ヘキサン	単位体積重量
瀬戸内海総合水質調査	国土交通省	昭和57年～	年1回(10月)	S57～H11年93点 H12～14年48点 H15～16年62点 H17年以降64点	-	採泥分析	HP上で昨年度の観測結果(水平分布図、経年変化図)が表示されている。	○	○	○		○	○※			○	○	○	○			※ 周防灘、響灘のみ			
瀬戸内海環境基本調査	環境省	昭和56年～	約10年周期に過去3回実施 第1回: 昭和56～62年度 第2回: 平成3～8年度 第3回: 平成13～17年度	425地点 (第1回調査は約850地点)	表層試料(5cm)	HP上で第1回～第3回までの報告書と、第3回調査結果のうち、「瀬戸内海の環境保全資料集」に掲載の図面については、データのダウンロードができる。	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○								
					コア試料(10cmを2cm刻みで5層)																				
				約850地点 (第1回のみ)	ピストンコアサンプラー(1mを5～10cm刻みで11層)																				
				19地点 (第3回のみ)	柱状泥試料(10cmまで1cm刻み、10cm以下は2cm刻み)																				

(生物)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目								
								植プラ 沈殿量	同定	計数	底生生物 同定	計数	魚類 漁況	藻場 分布	備考 その他	
【植物プランクトン】																
広域総合水質調査	環境省(実施機関:兵庫 県)	昭和47年～	年4回(5,7,10,1月)	4地点 (播磨灘では6地点)	-	採水計数	年度毎に「広域総合水質調査結果報告書」として環境省がとりまとめている。	○	○	○						
浅海定線調査	兵庫県立農林水産技術総 合センター	-	月1回	19地点	-	採水計数	年度毎に事業報告書としてとりまとめるとともに、HP上で、毎月の「センターだより」で結果概要の閲覧ができる。		○	○						
瀬戸内海の赤潮	水産庁瀬戸内海漁業調整 事務所	-	月1回	瀬戸内海全域	-	採水計数	毎月の月報が、HP上で、閲覧ができる。									「発生場所、構成種、面積、漁業被害等」を瀬戸内海沿岸各府県にヒアリング
珪藻赤潮情報	兵庫県立農林水産技術総 合センター	-	月3回	21点(播磨灘)	-	採水計数	年度毎に事業報告書としてとりまとめるとともに、HP上で、毎月の「センターだより」で結果概要の閲覧ができる。		○							兵庫のり研究所(JP兵庫漁連)と共同で調査を行っている他、香川県・岡山県の水産試験場の観測データの提供も受け、情報に盛り込んでいる。
【底生生物】																
瀬戸内海環境情報基本調 査	環境省	昭和56年～	約10年周期に過去 3回実施 第1回: 昭和56～62年度 第2回: 平成3～8年度 第3回: 平成13～17年度	425地点 (第1回調査は約850 地点) 425地点 (第1回調査は約850 地点) 約850地点 (第1回のみ) 19点(第3回のみ)	表層試料(5cm) コア試料(10cmを 2cm刻みで5層) ピストンコアサンプ ラー(1mを5～10cm 刻みで11層) 柱状泥試料(10cm まで1cm刻み、10cm 以下は2cm刻み)		HP上で第1回～第3回までの報告書と、第3回調査結果のうち、「瀬戸内海の環境保全資料集」に掲載の図面については、データのダウンロードができる。				○	○				
大阪工業大学駒井研究室 による調査	?	?	?	?	?	?	調査結果は公開されていない。									応募資料に引用されていた(海岸生物)
【魚類】																
漁況調査	兵庫県立農林水産技術総 合センター		月1回	兵庫県瀬戸内海海 域(主要4漁協)	-		「センターだより」はPDF形式で、ダウンロード ができる。									平均漁獲量、市場調査
【藻場】																
藻場の実態把握調査	兵庫県立農林水産技術総 合センター	2006-2007年	?	藻場が減少している 瀬戸内海側の主要 な場所	-	デジタル サイドス キャンソ ナー	調査結果は公開されていない。									

(流況)

調査名	調査機関	調査期間	調査頻度	地点数	調査層	調査方法	公開状況	項目						備考その他	
								流向	流速	潮位					
潮位観測	気象庁	-	常時	姫路(飾磨)	-	検潮儀(フロート式)	HP上で最新の3日間(昨日・今日・明日)または1日ごとの潮位の状況を閲覧することができる。			○					